令和８年度第２回次期高知県情報ハイウェイ検討会　会議録

１　日時

令和８年 10 月 27 日（火）　14:00～15:00

２　場所

高知会館 「平安」

３　出席者

福本委員、弘瀬委員、冨田委員、山﨑委員、植田委員

４　会議の概要

事務局（デジタル政策課）が資料に基づき、ワーキング（以下「WG」という。）での検討内容、アンケート結果及び情報提供依頼（RFI）の結果を踏まえた次期情報ハイウェイの方向性案について説明。

【質疑等】

（１）衛星通信について

（福本委員）

衛星通信については、安くない費用がかかるため、市町村の費用負担を踏まえ、何か考えはあるか。

（冨田委員）

災害時において、衛生通信は通常のアクセス回線を完全に代用できるのか。もしくは一部の機能のみの利用となるのか。

（事務局）

事業者からの提案や、市町村のニーズも踏まえてより具体的に検討させていただく。

基本的には災害時でも通常時のような利用ができることを想定している。

（弘瀬委員）

衛生通信については、災害時の対応に必要な経費であると考える。

（山﨑委員）

中山間地域で防災訓練を行う際に通信ができない現状があり、衛星通信は必要である。

調達を進めていくに当たっては、費用が増加する部分と削減される部分について、それぞれの金額の目安が明確になるとよい。

（２）基幹回線の費用負担について

（植田委員）

基幹回線の経費について、現行の費用負担の考え方の維持を希望されるか、委員の意見を改めてお聞きしたい。

（弘瀬委員、山﨑委員、冨田委員）

費用負担のあり方はぜひ現行の維持をお願いしたい。

（事務局）

本日欠席の岡本委員からも次のとおり意見をいただいている。

・情報ハイウェイは、県内の県立学校や教育関係機関を結び、校務支援システムをはじめとする校務支援ネットワークの基盤として利用されている。
・仮に情報ハイウェイが廃止された場合、代替となるネットワークを構築・調達する必要があり、個別にセキュリティ対策や保守・運用に対応すると全体として高額となることが見込まれる。
・学校や地域によって利用できる回線や費用に差が生じることは、教育環境の公平性の面でも懸念がある。特に、条件不利地域を含め、県内の学校が安定して校務支援ネットワークを利用できる環境を維持することが重要である。
・以上のことから、県教育委員会としては、高知県情報ハイウェイの次期も継続をお願いしたい。

（福本委員）

高知県の情報ハイウェイの取組は非常に優れたものであるため、現在のあり方で継続していけるよう引き続き県庁内での協議をお願いしたい。

（３）その他

（高知市）

市町村にとってはアクセス回線の経費が調達における重要な要素となるため、調達時の評価項目に含めるなど一定の配慮をお願いしたい。

（事務局）

いただいた意見をもとに WG で協議させていただく。

（四万十町）

構内接続についても方向性が決まれば、事業者に周知してもらいたい。

（事務局）

今後、周知・協議を進めさせていただく。